

関西労災病院

はた みゆき
畑 美之

関西労災病院は、昭和28年に兵庫県尼崎市にて開院されました。病床数642床、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院などの認定施設になっています。ホスピタルパークという環境もあり、そこは訪れる人々の憩いの場所でもあります。

この図書室に2018年2月より入職させていただいております。研修会などで何度か来訪したことがあり、前任者の方とは近畿病院図書室協議会活動などと一緒にいたことも多く、その秀でた勤務ぶりは承知しておりましたので、いささか臆するものがありました。「えいっ」という気持ちで、大学図書館勤務から移ってきました。

実際に勤務を始めて、雑誌書架に私の生まれた年（それは、あかせませんわ）より古いものが並んでいる（図書にしてもしかり）のを見て、創設時より適切な対策を講じられている図書室とはこういうことなのかと感心し、それらの古い資料からにぶい光のようなものが感じられたりして不思議な気持ちになりました。

今後はこの環境の中で自分なりに時代の変遷を受けつつ、すこーしずつ工夫を考えていこうかと思っています。どうぞ皆さまからのご意見をいただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。



北から

会 員 紹 介

南から

清和会 笹生病院

いしばし りょう
石橋 亮

当院は、兵庫県西宮市に1989年3月に開院以来、一貫して救命救急医療を中心とした高度救急医療を重視しています。手術・アンギオグラフィーなど、24時間体制で行える診療システムを確立し、スタッフが丸となり地域に密着した急性期医療を実践しています。

1999年には日本医療機能評価機構の認定を受け、以降4回の更新を行い、2019年度中に5回目の更新を行う予定です。

2007年7月よりDPC請求を開始し、一般病棟入院基本料7:1の算定も開始しました。

さらに法人内の老人保健施設、訪問看護ステーションで高齢化に対応した継続医療の一貫体制を推進しています。また、2010年には健診センターを開設し予防医学にも取り組んでおります。2013年には回復期リハビリテーション病棟40床、2017年には地域包括ケア病床6床を開設し、身体機能の回復と在宅復帰に向けた治療にも取り組んでおります。

いつでも誰にでも安全で質の高い医療サービスを提供できるように、今後も急性期医療を中心に、リハビリテーションや在宅復帰に向けた取り組みまで、地域医療に貢献できるように努力し続けます。

